

令和4年度 福島県ハイテクプラザ 試験研究概要リーフレット

工芸

立体模様シートの漆製品 曲面への応用

研究期間：令和3～4年度

担当者：会津若松技術支援センター 産業工芸科 関澤 良太、吾子 可苗、池田 信也



図1 曲面への貼り付け試験サンプル



図2 立体模様シート（竹塗）



図3 竹塗三段重箱

解決すべき課題

漆製品や工芸品等の凹凸模様を表現するには熟練の技術を必要とします。そこで、県有特許である「立体模様製造方法」を活用した試作品を作ることを目的に、出力可能な模様の条件や曲面への応用を検証し、実用化に向けた検討を行いました。

研究内容

3Dプリンタで、3種類の模様とその模様の厚みによる印象を確認するため、段階的に厚みが異なる半球サンプルを制作しました。また、立体模様シートが貼れる曲率を調べるために、曲面への貼り付け試験（図1）

や塗装による印象を確認するために、漆による塗装試験を行いました。最後にこの結果をもとに、試作品を制作しました。

結果・まとめ

本研究結果から、立体模様シートを曲面へ貼り付けるための方法としては、加熱して曲げる方法が最も簡便で適していることが分かりました。この方法を用いて、試作品として「竹塗三段重箱」を制作し、伝統的な漆工法の再現が可能となりました（図2、図3）。

詳細な試験研究報告書はこちら！

ハイテクプラザ 試験研究報告書

検索 

- ・「漆製品に用いる立体模様シートの評価 第1報」
- ・「漆製品に用いる立体模様シートの評価 第2報」

お問い合わせ窓口 TEL：024-959-1741（代表：産学連携科）